

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市子育てふれあいプラザ		
2 指定管理者	特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク		
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 29,667人(前年度比 176.2%) 内訳 ひろば:27,224人 託児:2,443人 ※視察等:568人 令和4年度 16,839人 令和3年度 11,112人		
	《事業》 乳幼児親子の交流の場の提供、一時預かり、子育てに関する情報収集・提供等、子育てを総合的に支援する事業 子育てに関する事業を行う者(子育て支援活動団体)に関する事業、中高生に関する事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 28,333千円 (29,942千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 5,476千円 (4,588千円) ※託児収入 ・ その他収入 56千円 (19千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・意見箱の設置 ・イベント参加者に対してアンケートを実施		

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ法人が指定管理者となっているのびすく若林との合同会議を年2回実施し、法令・服務規律遵守、職場倫理、施設の設置目的などについての研修の時間を設け、理解を深めている。 ・利用者向けに、入口スペースに施設の設置目的や基本方針を掲載するほか、初めての来館する方にはパンフレットを用いて案内、説明をしている。 ・イベント予約を受け付ける際は、共通の管理用紙を用いることで、どの職員でも予約状況をすぐに確認し、一貫した受付ができる体制を整えている。人気のイベントではキャンセル待ち枠も設定するなど、一人でも多くの利用者を受け入れるため臨機応変な対応を行っている。 	21/21
II 施設の運営管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝のミーティングにて、前日の業務日誌を用いながら情報共有を行っている。 ・業務分担は年度ごとに入れ替え、引継ぎを行い、より多くの職員で対応できる体制を整えている。 ・避難訓練について、同じ建物内のガス局と合同で年2回実施するほか、館内でも想定を変えながら年4回実施している。イベントでは地域の防災士を招き防災に関連した内容を取扱い、利用者に対しても防災への意識啓発を行っている。 	30/30
III 施設・設備の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館後に清掃、巡回を行いチェックシートに記録するほか、より安全な施設運営のため、警察の協力のもと不審者対応訓練を行っている。 ・環境に配慮した取り組みとして、不要になった段ボールを活用したおもちゃの作成や、個人情報の記載の無いチラシの裏面を活用したお絵描き遊びなどを行っている。 	23/23
IV サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・情報担当職員を配置し、施設のホームページにおいて適切でわかりやすい広報を行っている。 ・法人による研修費補助制度を活用することで、職員が研修を受けやすい環境をつくり、個々のスキルアップにつなげている。 	28/28
V 施設固有の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かりにおいて、発達が気になる子や他者とのかかわりが少ない子など、配慮が必要な子が増える中、職員間での情報共有やシフトの強化により、適切な事業実施を実現している。 ・利用料徴収等経理に関する書類は法人で管理を行っている。施設では必要最低限の小口現金のみ管理し、指定管理料の適切な執行につなげている。 	9/9

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク）による自己評価》
<p>5月から3年ぶりの通常開館になったが、利用変更については丁寧に伝えることを意識した。館内アンケートの結果では、職員の接客マナーに対して高評価をいただいた。マスク着用での対応だったが、笑顔での挨拶や話しやすい雰囲気づくりを心掛けたことが評価につながった。また、より使いやすい場の提供を心掛け、利用者の声を反映させレイアウトの変更等を行った。</p> <p>乳幼児の育ちにとって外遊びの経験は大切だと考え、外遊び事業に力を入れた。初めて外遊びをした親子にとって、遊びの幅が広がるきっかけになり、回数を重ねるごとに参加者も増えていった。</p> <p>一時預かりは、ニーズの高さは変わらずだったが、個別の対応が必要なお子さんが増えていると感じている。職員間の話し合いや研修等を行うことで、ケガやトラブルなく預かることができた。リピーターも多く、保護者と良好な関係性を築けている証だと考える。</p> <p>研修については、全体研修のほかに個別で参加した場合には、職員会議で全員に報告、共有しスキルアップに努めた。</p> <p>避難訓練を定期的に関催、防災士の立会いのもと開館時に実施した際には、的確なアドバイスをいただき、より具体的な対応を考えることができた。</p> <p>地域や他機関との連携を積極的に行った。コロナ禍後の子育てを一緒に支えていける関係性づくりに努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、交通アクセスのよい市中心部に位置することもあり、市外からの利用者や、両親、祖父母等の利用者が多い中、安全かつ利用者のニーズに合わせた運営を行った。また、季節に合わせたイベント「親子でおでかけ」を実施。近隣の西公園や錦町公園を散策しながら、常連の利用者に加えてその場に居合わせた乳幼児親子も受け入れ、外遊びの楽しさを伝えると同時に、のびすくすの周知、案内も行っている。</p> <p>一時預かり事業では、市外からの受け入れを可能として以降、市中心部に位置する施設であることもあり、仕事を理由とした利用が急激に増加した。0～1歳児の利用や長時間の利用も多い中、安全な託児を行うため、予約や受付の際、既往歴やアレルギー、普段の様子等を丁寧に聞き取っている。</p> <p>また、宮城総合支所地区の子育て支援機関との連携事業である「チームai子」においては、のびすくすまで来館しにくい地域の実情に合わせ、当該地域まで赴き乳幼児親子の居場所の提供を行っている。宮城保健センターにて、同センターでの講座終了後に周知してもらうことで、より多くの乳幼児親子の参加を実現している。さらに、法人独自の取組みとして、父親向けのリーフレット、ワークライフバランスの周知本の作成と配布、それらを活用した講座を開催し、仕事と子育ての両立に対する啓発を行っている。</p>	<p>S</p>

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

© 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども家庭部子育て応援都市推進課